

**コロナ禍における
ネイチャーラボ(自然体験教室)実施ガイドライン**

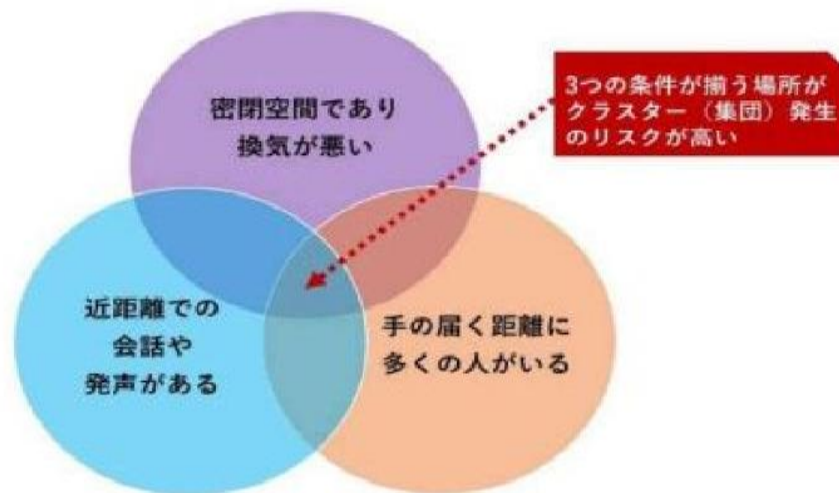
令和4年度版

認定NPO法人みんなの夢の音楽隊

<全ての活動に共通して配慮すべき事項>

重要ポイント①

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議で示されている3つの条件が同時に重なる場を徹底的に避ける。



重要ポイント②

基本的な感染症対策を徹底する。

- 手洗い（ウイルスを持ち込まない、持ち出さない）
- マスク（自分を守る、相手を守る）
- 換気（密閉空間を作らない）

1. 基本的な考え方

- ・実施にあたって、参加者および保護者に対して、活動の趣旨や安全性について、丁寧な説明をおこない、共通理解を得るように努める。

2. 実施の判断基準

- ・実施にあたっては、社会情勢や、参加者および保護者の意見を聞き、さいたま市の小中学校が実施している自然の教室の実施状況などをふまえて判断する。

3. 留意点

- ・通常時の対応に加え、コロナ禍における緊急時の対応について、事前に医療施設等の場所や連絡先を確認し、また、保護者に要請する緊急対応の内容について事前の説明を行う。

4. 感染予防対策等

- ・実施期間の前後2週間の参加者および同居者の健康観察を行う。
- ・体調不良者および健康観察期間中に37.5℃以上の発熱があったものは、参加できない。
- ・屋内での活動や宿泊活動の際はマスクを着用し、会話をする際は適切な距離を保つよう指導する。
- ・活動の前後、および宿泊活動中適宜、手洗い消毒を徹底する。
- ・複数人で使用する場所や、複数人が触る場所や物について、スタッフが適宜消毒を行う。
- ・宿泊活動中は、就寝時、起床時の検温および健康観察を行い、室内では常時喚起を行う。

5. 中止判断

- ・活動期間中に複数名の発症者が出て、隔離等の措置が十分に行えないなど安全対策に懸念がある場合。
- ・実施前、および活動期間中に引率する大人スタッフに発症者が出て、活動の継続が困難となる場合。
- ・さいたま市が実施している自然の教室の実施が中止とされる場合。

6. 宿泊先の対策

- ・上階の窓を常時開放し、換気を行う。
- ・寝具については、一部各自で持参するようにし、使いまわしなどが起きないように配慮する。
- ・宿泊施設の浴室は小さいため、適宜近隣の安全対策に準じた公共入浴施設を利用する。
- ・消毒を適宜実施できるよう、各所に配置する。
- ・検温器を持参することを推奨し、非接触の検温器を配置。
- ・パルスオキシメーターや酸素吸入器などの緊急用の備品を用意する。
- ・看護師資格を持つスタッフが随行できるように配慮し、できない場合でも常時遠隔で健康相談等ができる体制を整える。